

1. 建物概要

建物名称	(仮称)熱海銀座町ホテルPJ	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	----------------	-----	---	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3	/5	ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつつ 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.2	/5	がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 
			ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

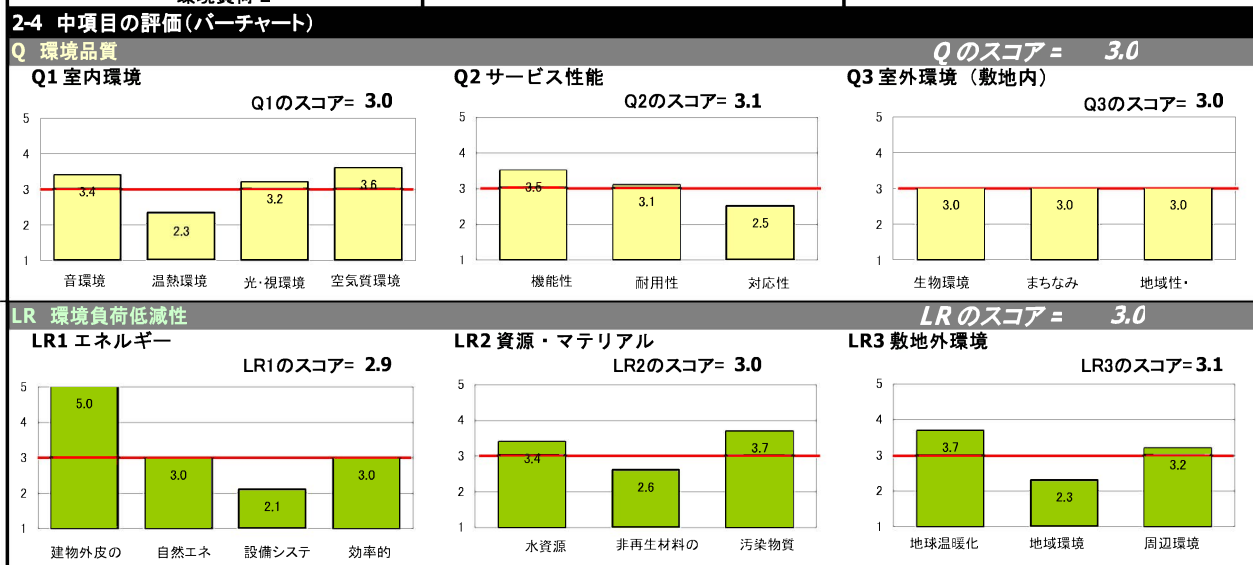
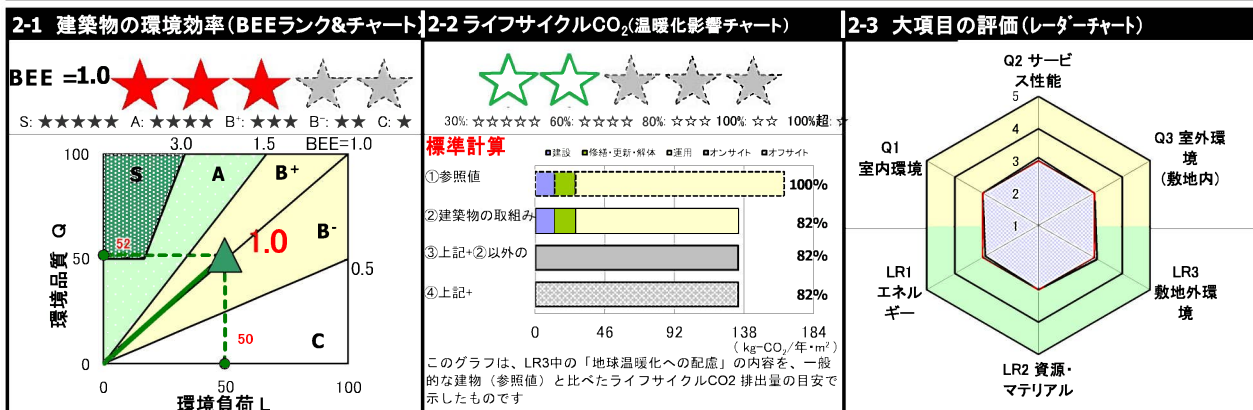
3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.3
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①Low-Eサッシの採用による開口部の温熱環境の向上。 ④更新必要間隔の長い主要内装材を使用 ④更新必要間隔の長い給排水配管材を使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤海の街である熱海のイメージと調和するような常緑樹を選び、植栽を計画した。 ⑥中・高木や庇により夏期における日陰を形成し、敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和した ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI=0.77 ⑧BEI=0.78 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器の採用 ⑫躯体と容易に分別が可能な仕上げ材の採用 ⑬ODP、GWPの低い断熱材の採用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率0.82%		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 3 3.2 ⑥	⑦ 外皮性能 ⑧ 昼光利用設備 ⑨ 昼光制御 ⑩ 躯体材料の耐用年数 ⑪ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑫ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑬ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑭ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑮ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
		LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
		LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑫ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑬ 材料使用量の削減 ⑭ 既存建築躯体等の継続使用 ⑮ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑯ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑰ 持続可能な森林から産出された木材 ⑱ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑲ 有害物質を含まない材料の使用 ⑳ 消火剤 ㉑ 断熱材 ㉒ 冷媒
		LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
		得点	3.0
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.0
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
		得点	2.2
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.2
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱/⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
		Q-3 3 3.1 ⑲	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.7
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ②外観は周辺のまちなみや風景にバランスよく調和する色彩とした。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし		Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
		LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熱海銀座町ホテルPJ	階数	地上9F
建設地	静岡県熱海市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	242 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年 12月 予定	評価の実施日	2025年7月30日
敷地面積	508 m ²	作成者	UDS株式会社 中原 典人
建築面積	388 m ²	確認日	
延床面積	2,663 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 静岡県熱海市に計画された地上9階建て、RC造のホテル。 快適な室内空間となるよう十分な採光、通風を確保するとともに、安定した通信環境などサービス性能の向上に努めた。 また、断熱性能を高めるとともに、高効率設備や節水器具を採用することでライフサイクルCO ₂ 排出量を削減した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質対策として、内装材及び接着剤などは全てF☆☆☆☆を採用した。 共用部、宿泊室ともに十分な採光がとれるよう開口部を計画し、宿泊室は自然換気が可能な窓とした。	Q2 サービス性能 耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材、配管を採用した。 また、安定した通信環境となるよう通信設備を整えた。	Q3 室外環境(敷地内) 海の街である熱海のイメージと調和するような常緑樹を選び、植栽を計画した。 外観は周辺のまちなみや風景にバランスよく調和する色彩とすることで良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。 躯体と仕上げ材が容易に分別できるようにし、部材の再利用可能性向上に取り組んだ。	LR3 敷地外環境 光害対策として、屋外広告には行わず敷地外環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される